



まつど生涯学習大学講座 開講式

市民劇場ホール 平成26年5月22日

《趣旨》

わが国では、今日、他国では見られない早さで高齢社会が進行しています。

それは、私たちがこれまで経験や予測もしなかった、人権、福祉、医療など、さまざまな問題を提起しています。

このような時代にあっては、それぞれが自らの生活課題に即した学習が不可欠と言えます。

東日本大震災以降、地域社会のつながりの重要性がより一層叫ばれておりますが、とりわけシニアの方々には、自らが住むその地域社会をよりよいものにしていく主体的役割が求められています。そうした役割を果たすためにも、不断の学習が肝要と思われまます。

まつど生涯学習大学（全18回）では、これらについての学習を深めながら、皆さんが地域社会の中で行動する主体になることを目的として開設しています。

開講式では、本郷谷松戸市長の挨拶、開催趣旨説明のあと、松戸市広報公聴課尾形一枝氏による、「松戸市の広報活動について」と題した基調講演が行われました。

○「広報まつど」や「松戸市生活カタログ(市民便利帳)」についての、シニア

世代に関する分野の利用・活用の仕方のPR

- ・ 広報まつどは、市政情報を定期的に伝える市の代表的な広報媒体です。
- ・ 視力が弱い、文字を読むのが苦手といった方々が快適に閲覧できるように、文字を拡大したり音声で読み上げるソフトをホームページ内にご用意しています。

○防災対策についてのPR

- ・ 東日本大震災を受け、最新の生活カタログでは防災意識を高めてもらうため、24ページにわたり防災情報を掲載しています。
- ・ 「防災無線、無料電話、ケーブルテレビ」などで、災害が発生、または発生する恐れがある場合に、被害情報や災害に関する予警報の収集や伝達、避難に関する情報の伝達などを行います。

◎この基調講演が、情報の取り入れ方・視野の広げ方の一助、「アンテナをはる」きっかけとなればと思います。

